

## グローバル・ヴィレッジ 2018年度 活動報告

### 【概要】

2018年は、2月にピープルツリー・アンバサダーの鎌田安里紗さんと協力し、インドの生産者を訪ねるスタディーツアーを実施しました。一方、生産者の来日招聘や現地のプロジェクト支援などの活動は十分に行えませんでした。そこで2019年に向けて生産者支援を強化するため、11月～12月に生産者サポートの助成資金を集める寄付キャンペーンを実施し、100名を超えるご協力者から91万円余りをお寄せいただきました。2019年はこの資金を生産者支援に活用させていただきます。また、啓発活動の一環として、2017年度より一般社団法人「日本フェアトレード・フォーラム」の事務局業務を担い、フェアトレードを推進している市町村や大学の「フェアトレード・タウン」「フェアトレード大学」認定をサポートしており、次々と認定候補が上がっています。

### 【収入・支出状況】

2018年の収入は309万円で、内訳は会費収入139万円、寄付収入134万円、講師派遣などによる啓発活動収入が35万円です。会費・寄付収入は募集の呼び掛けを活発に行えなかったため前年より35%減少しました。支出の部では、システム改修対応等のための経費が増加する一方、情報発信や啓発活動などに人員を割けず経費が減少しました。生産者来日プログラムは4月にインドの生産者団体「サシャ」の代表の来日受け入れ1件、また生産者等の活動支援の寄付は、ピープルツリーの売上連動寄付を除いては実施案件がなく、支出合計は251万円と前年比で36%減少しました。これにより当年収支は58万円のプラスとなり、7万円を次年度に繰り越しました。

2018会計報告		
(会計年度1月1日～12月31日)		
	2017	2018
<b>収入の部</b>	<b>4,434,729</b>	<b>3,087,316</b>
会費収入	2,105,000	1,385,000
寄付金収入	2,095,890	1,348,179
啓発活動収入	233,837	354,137
雑収入	2	0
<b>支出の部</b>	<b>3,925,420</b>	<b>2,510,846</b>
情報発信	601,687	558,671
啓発活動費	1,144,568	889,221
生産者来日プログラム	1,144,301	139,809
プロジェクト支援	228,560	0
技術・能力向上支援	0	0
<b>活動費小計</b>	<b>3,119,115</b>	<b>1,587,701</b>
人件費	344,234	326,400
家賃・水道光熱費	372,920	362,852
その他事務所諸経費	89,151	233,893
<b>事務所経費小計</b>	<b>806,305</b>	<b>923,145</b>
<b>当期収支</b>	<b>509,309</b>	<b>576,470</b>
前期繰越	-1,012,172	-502,863
次期繰越	-502,863	73,607

### 【活動報告】

#### 1. 啓発活動

##### 1) スタディーツアー

ピープルツリー・アンバサダーでエシカルファッションプランナーの鎌田安里紗さんがコーディネーターとなり、2月にインドの「クリエイティブ・ハンディクラフト」と「サシャ」を訪問。16名が参加しフェアトレードの現場を体感しました。



サシャのプリント職人グループを訪問し作業の体験をする鎌田安里紗さん(右)

##### 2) セミナー、ワークショップ

4月にインド「サシャ」代表のルーパ・メタさんが来日。ファッションの背景を考える「ファッションレボリューション」週間に合わせてピープルツリー自由が丘店で鎌田安里紗さんと共に現地の様子を紹介するトークイベントを開催しました。



ピープルツリー自由が丘店でトークに登壇した鎌田安里紗さん(左)と「サシャ」のルーパ・メタさん(右)

また7月には、ピープルツリー・アンバサダーで一般社団法人エシカル協会代表理事の末吉里花さんが講師を務める津田塾大学の特別講座として、ピープルツリー自由が丘店でエシカルファッションの講義を行いました。

##### 3) 講師派遣

グローバル・ヴィレッジ代表の胤森が、フェアトレードについて講演や講義を行いました。

- ・FTSN(フェアトレード学生ネットワーク)のネットワークミーティング(3月)
- ・川崎市立橋高等学校(6月)
- ・横浜市立洋光台第一中学校(11月)
- ・実践女子大学(12月)

##### 4) フェアトレード普及活動の支援

グローバル・ヴィレッジは2017年より、フェアトレードを推進する団体や個人のネットワーク組織である一般社団法人日本フェアトレード・フォーラム(FTFJ)の事務局を務めています。FTFJは2018年2月、静岡文化芸術大学を日本初の「フェアトレード大学」に認定しました。また、札幌市が「フェアトレードタウン」となる基準を満たし、認定審査が進んでいます。このような全国各地のフェアトレード普及活動を、FTFJを通じて支援しています。またグローバル・ヴィレッジ/ピープルツリーの拠点である東京・世田谷区でフェアトレードタウンを目指す機運が高まっており、10月の「せたがや産業フェスタ」で初めて、フェアトレードの紹介ブースが設置されました。

## 2. 生産者支援活動

### 1) 生産者来日プログラム

インド「サシャ」代表のルーパ・メタさん来日時のアテンドや滞在費の助成を行いました。

### 2) 寄付プロジェクト

ピープルツリーと連携し、生産者パートナーが運営する教育や環境保全等のプロジェクトに商品の売上に応じた寄付を送りました。

#### ●クムベシュワール・テクニカル・スクール(KTS)(ネパール)

ピープルツリーにニット製品を届けてくれる KTS が運営する孤児院を支援するため、KTS のファッションアイテム 1 点につき 100 円を寄付。

《送金額》 195,100 円(セーター等 1,951 点分)

2018 年 11 月、ネパールで開催された WFTO(世界フェアトレード連盟)の国際会議に出席した代表・胤森が KTS を訪問、孤児院の子どもたちと交流しました。



孤児院の食堂で歓談する子どもたちと世話係の女性(最左と最右)、胤森(右から 2 番目)

#### ●タラ・プロジェクト(インド)

児童労働に従事する子どもたちに教育の機会をつくるためにタラ・プロジェクトが運営している教育センターを支援。タラ・プロジェクトで作られたアクセサリーの売上 100 点ごとに 30US ドルを寄付。

《送金額》 約 195,000 円(アクセサリー 5,981 点分)

また、ジュエリー／ファッションブランド「RUKUS by yasuhito tomita」から支援のお申し出を受け、RUKUS の春の新商品の売上からご寄付いただいた約 40,000 円を合わせて送金しました。



タラ・プロジェクトが運営するウツタル・ブラデシュ州の教育センターに通う子どもたち

寄付プロジェクトの概要は、ピープルツリーのホームページ内「寄付つきのお買い物」でもご紹介しています。

<http://www.peopletree.co.jp/sharethelove/>

これらの寄付はピープルツリー商品の売上からの拠出となるためグローバル・ヴィレッジの支出には含まれません。

また、毎年継続して支援しているバングラデシュの NGWF(衣料品産業労働者組合連合)は、先方の組織体制の変更等により 2018 年度内に寄付の送金を見送ったことから、当年のグローバル・ヴィレッジからの寄付支出はゼロとなりました。2019 年の支援再開に向け、現地の詳細状況を確認中です。

## 3. 緊急支援活動

豪雨で被災した岡山県や地震に見舞われた北海道の被災者支援のため、グローバル・ヴィレッジ／ピープルツリーから寄付を呼び掛け、集まった寄付 130,840 円を、現地で活動する「一般社団法人 ピースポート災害ボランティアセンター」の支援活動に役立てていただきました。

※この寄付はご賛同者からお預かりした寄付の送金であるため、グローバル・ヴィレッジの収入／支出には含んでおりません。

### 【2019 年活動計画】

みなさまのご協力のおかげで生産者サポートのための資金を蓄えることができ、2019 年内に 2-3 件のプロジェクトを支援する予定です。ケニアのハーブ農家と加工工場が有機認証を取得するための研修費用や、バングラデシュの手織りの生地をつくる生産者団体がサンプル製作の小型織り機を購入する費用など、生産者の人びとが組織運営や生産に関わるさまざまな課題を自ら克服するための活動を助成してまいります。



カモミールを収穫するケニアのハーブ農家の女性たち

また、ここ数年、SDGs(持続可能な開発目標)の達成に向けたアクションとしてフェアトレードの推進を取り入れる動きが企業や教育現場で広がっており、学校向けの講演活動やセミナーの企画などを、FTFJ とも連携して強化してゆきます。

これらの活動に必要な資金を確保するため、新会員の募集など情報発信も活性化させてまいります。

以上